

あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば かいじあむ かわら版 第1号

寺子屋

あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば
毎週日曜日 十一時より好評開催中!

かいじあむ初!連続大河紙芝居

武田信玄～風の如く、火の如く～

甲斐が誇る戦国大名・武田信玄の一生を、お子様から大人の方までわかりやすく楽しめる紙芝居です! (史実をもとにしたフィクションです)
～カンカンカン! さあ! 紙芝居のはじまり、はじまり～



- ◆ 開催日と内容 ◆
- ①10月17日: 誕生～青年期—父と子
- ②10月31日: 家督相続—若き甲斐国主の日々
- ③11月14日: 川中島篇—vs 謙信
- ④11月28日: 落日篇—晩年の日々 の予定です。



寺子屋ひろば
って何するの?

みんなでかるたをしたり、紙芝居をみたい、工作をしたい...
見て・聞いて・触れて楽しむ参加型イベントです。
子供から大人までみんなで作る楽しい時間。
わくわく体験☆やってみるじゃん! かいじあむ!!



お弁当を、おっ
たてにむすぶ
もんじゃないぞ

日々のお弁当の包みが
おっただて(たて結び)
であることを指摘され、
思いついた風呂敷包みの
ワークシヨップ。風呂敷で
箱やらビンやらスイカや
ら、たくさんの物を包みな
がら、今回は結び方が苦手
な人のための特訓兵器
くるりんエーも登場!
小さなお子さんも見事な
風呂敷包みを仕上げまし
たよ!

△フロシキ
風呂敷のための
包括的な試行錯誤!
十月三日(日)

見れば分かる?
何JING?
ハツケヨイ
ノコッタ!
かいじあむ場所
十月十日(日)

①プロレス②ケンカ③すもう
その続きは寺子屋にて...



季節の折り紙～秋～ 外国のお盆!? ハロウィンを楽しもう☆ 10月24日(日)

ハロウィンって何の日? ←の名前は何??
そんなハロウィンの疑問にお答えします!
疑問が解決したら、今度はハロウィンを楽しみましょう☆
日本の伝統的な遊び「折り紙」で や などを作っちゃおう!!
出来た作品は大きなカボチャに貼って、カボチャを作品でいっぱいにして☆とっても簡単なので、作り方を覚えておうちで飾り付けるのも楽しいですね♪
大人も子供も、みんなでハッピーハロウィン!!

本日開店 千客万来!
食べ物からアクセサリーまで幅広く取りそろえました手前どもの店へようこそいらっしゃいました。なんと、当店の商品には値段が書いてございません。今から一七〇年前、江戸時代の人の気持ちになつて「マグロはいくらかな?」「おしろいはいくらかしら?」と考えるながら面白い物ごっこを楽しんでいただきます。おこづかいの中で、さて何が買えますか?めざせお買物上手!

ODD OR EVEN

～サイコロ運と水運と～
11月21日(日)

今から2000年と少し前、ローマのカエサルは言いました。「ルビコン河を渡れ。サイは投げられた」その約1600年後、日本の徳川家康は言いました。「富士川を改修せよ」そして、こう付け加えたかもしれません。「サイコロを振れ」—そんな、川とサイコロについて考察するイベントになるはずです。

寺子屋ひろばからお知らせ

- 寺子屋ひろばへの参加方法
申込は不要ですが、常設展チケットが必要です。
時間: 午前11時～11時30分(毎週日曜日)
場所: 体験寺子屋
- 常設展スルーガイドも開催中!
毎週土曜日 午前11時からおよそ30分間で、常設展のみどころをご案内します☆
- 企画展開催中! 開館5周年記念特別展
10月9日～12月6日 KAIGENJI

干支を覚えて、 卯(ウサギ)を折ろう 12月19日(日)

日本には、1年ごとに12種類の動物を用いて、その年を表す「十二支」というものがあります。その「十二支」成り立ちの逸話をご紹介します。そして、来年の支・卯(ウサギ)を折り紙で折ります。とても簡単にかわいく出来ますよ。是非ご参加下さい。

たいけん! 甲州弁かるた 十二月五日(日)

甲州弁使えますか!?
「甲州弁いろはかるた」というものがあります。今回はそのかるたで甲州弁の世界にふれてみようと思っ
ています。遠慮しないで
寄ってみるじゃん! やって
みるじゃん! かいじあむ
皆様ので参加お待ちして
おります。

紙芝居の歴史

紙芝居は今も昔も変わらず、子供からお年寄りまで幅広く親しまれています。演じ手と作品と観客さえあれば、どこでも誰でも手軽に楽しめるのが魅力です。演じ手と観客が一体となって創り出す共感もテレビでは味わえません。その紙芝居の歴史に触れてみましょう!

大正

大正10年に「立ち絵」といって竹の串につけた紙人形を舞台で動かすものが誕生! 飴売りが客寄せに演じたのが始まりです。原っぱにはたくさんの子供達が見に来て大人気でした。

昭和

昭和から紙をめくる紙芝居「平絵」が誕生! 1930年に東京の下町で始まりました。中でも「黄金バット」が大人気! 1932年(昭和7年)にはなんと全国に5万人の紙芝居屋さんがいた程です。しかし高度成長期には、テレビの普及により衰退していききました。

現代

現代では図書館にも紙芝居が導入され貸出も始まり、ボランティアによって学校や病院、高齢者施設でも活用されています。最近では、国外へも「KAMISHIBAI」と紹介されています。